

平成28年度事業計画書

生活介護事業所 咲笑（さくら）

1. 基本方針

重度の障害があっても地域の中で普通に暮らせることのできる街づくりを目指し、様々な社会資源を活用しつつ、重度の障害児者が求めるサービスを提供するとともに、より困難な状況にある方々の福祉に一躍を担うべく主体的に取り組むことを基本理念とします。サービスを実施提供するうえにおいて、障害児者の多様なニーズに対して柔軟にかつ丁寧に応えることを基本姿勢とし、粘り強くその事業及びサービスの実施を試み、最大限の努力を行うことを本会の基本方針とするものです。

私たちの姿勢について

私たちは、「障害」ということばを生きていく上での困難さと捉えその困難な状況下で精一杯生きる対象者の有する権利と人格に対して、最大の敬意をはらうとともに、私たちが行う支援が効果をあげるべく、自己研鑽を行い、私たちの職務が対象者の福祉に貢献することを喜びとして、目前にある使命を、諦めることなく熱意を持って果たしていくことが、私たちの事業に対する姿勢です。

2. <咲 笑>として大事にしていくこと

① 利用者主体

一人ひとりの想いを尊重した活動を支援します

② 安全、安心の提供

清潔、安全な環境づくりを常に心掛けます

安心感を抱き、笑顔の絶えない日常を支援します

③ 人とのつながりの中で

地域の活動を通し、施設として個人として人とのつながりを深めていくなかで充実した時間を支援します

職員の姿勢として大事にしていくこと

① 1日は挨拶ではじまり、挨拶で終わります。笑顔を決やすことなく気持のよい挨拶を心掛けます。

② サービスを担う者として相応しい『言葉遣い』や『態度』を意識します。

③ 何事にも精一杯・丁寧に取り組み真摯な態度で向き合います

④ 常に成長できる職員集団をめざします

3. 平成 28 年度の取り組み

生活介護事業所『咲笑』は平成 27 年 6 月に自主製品作成を含めた就労支援事業として開所しました。現在、5 名の利用者が活動を行っています。今年度に関しては、現段階での相談件数（2 件）を含め、利用者数が増えることが予想され、自閉症の特性をより理解した専門的実践がもとめられることとなります。自閉症支援において最も重要となる自閉症の特性の理解を深め、自閉症支援のニーズに対してより丁寧なきめ細かな支援を目指して取り組みます。基本的な特徴から、ひとりひとりが抱える困難さを理解し、適切な対応を行うことが求められており、個々に合わせた仕事、補助具、職場環境などを準備する必要があります。なにが得意なのか、どんなことが好きなのかという視点で利用者をよく観察し情報を集め、自閉症の特性がどのような形であらわれているのかを認識し、課題やルール、作業、余暇活動を組み立てます。そしてそれらは、お互いが認め合える関係性を築いていくためのものであるという視点を大切にしていきます。見通しをもちやすくする環境設定、構造化された環境の中で生きがいを持ちながら安心して暮らせることを目標とした支援の実施を目指します。

①生産活動

*クッキーの生産及び販売

自閉症の人は不必要な刺激の影響を受けやすく混乱や気が散りやすいため、どこで何をするのかが見るだけでわかりやすく提示するなど視覚的明瞭化の中、作業を行います。また、活動と場所をできるだけ 1 対 1 対応とするため、調理室を設定し場所の構造化を図ります。

咲笑クッキーの特徴として、卵を使用しないクッキーの生産に取り組み、アレルギーをお持ちの方への商品として販売を目指し、そのための計画的なプログラムを作成し実施します。

*アクセサリーの生産及び販売

バレッタ（髪留め）を中心に作成し、販売につなげます。自閉症の方は、何をどれくらいするのかを理解するのが苦手なため、見るだけで何をどれくらいするのかわかるワークシステムを活用し、始まりから終わりまで、完成したことを理解できるよう支援します。

③創作活動

*和紙を利用した「ちぎり絵」の制作

描いた絵に細かくちぎった和紙を丁寧に貼り、貼り絵の紙芝居を作成します。生産活動と同様にワークシステムや視覚的明瞭化・構造化を図りながら、作品の完成を目指します。

創作活動をおこなうことにより自己の表現と集中力、楽しさと達成感を高め、心身のリフレッシュを図ります。完成後は、地域の子育て支援施設に寄贈するなど、地域に貢献できるよう努めます。

④趣味活動

*調理

ひとりひとりにあわせたスケジュールや手順書、マッチングシートなどを使い、わかりやすく活動内容を示します。みんなで作り上げる楽しさと自分たちで作ったものを食べる喜びを感じてもらい、「食」の興味を深めます。

*スポーツ

大阪市長居障がい者スポーツセンター等にて職員とともにスポーツを楽しみます。外出用スケジュール手帳を作成し見通しをもって取り組みます。

*ダンス

ボランティア講師の指導のもと、楽しみながら身体を動かします。

⑤日常生活上の業務への取り組み

*掃除・整理等

スケジュールの中に掃除・整理等を組み入れ、日中活動のなかで生活する上で必要なソーシャルなスキルを育むことを目指します。

*買物

クッキー材料などを購入します。手順書に沿い、必要なものを購入するという経験をとおして金銭の扱い物の価値、社会のルールなどの理解を促します。

⑥施設運営管理

利用定員：6名（みどり教室の従たる事業所）

⑦防災及び研修関係

みどり教室（主たる事業所）と一体的に実施

⑧健康衛生管理

みどり教室と一体的に実施

⑨工賃

みどり教室と一体的に実施

⑩行事

みどり教室と一体的に実施

⑪その他

*ひやりはっと及び事故報告

みどり教室と一体的に実施

*給食の実施

日毎の2種類の献立のうち1種類を利用者が選択し、給食提供。
季節感や健康に配慮したメニューを提供します。